

# 大会宣言

昨年は、東日本大震災、台風による豪雨被害など未曾有の自然災害により、多くの農業者が脅威にさらされた年であった。さらに、東京電力福島第一原子力発電所の事故や国内政策の混迷、さらには TPP への交渉参加に前のめりな政府の姿勢など、日本農業は危機的状況にあると言っても過言ではない。

しかし一年を振り返れば、災害の中で日本人の「絆」を力強く感じるとともに、「食」の大切さを生産者・消費者の枠を超えて様々な場面で実感した年でもあった。我々青年農業者は地域の「絆」と、日本の「食」を担っていることを改めて自覚し、この日本の豊かな農村風景と良き伝統を次世代の子供たちにつないでいく責務がある。

そのため、我々は日々の営農や地域における課題から、農業政策、さらには政策決定のあり方まで、幅広い視点で問題点を洗い出し、自分自身の手で未来へつなぐ新たなビジョンを創り出すことで、これからの日本農業をさらに発展させ、国民各層との広範な対話により「食・農・命」全てが繋がっていることを伝えていく必要がある。

日本全国のJA青年組織が盟友の声を積み上げる取り組みによってポリシーブックを作成し、組織の目的、存在意義を再確認し、責任ある行動を自らの信念を持って展開していくことをここに宣言する。

平成 24 年 2 月 15 日  
第58回JA全国青年大会

※ 本大会宣言は、約 1,500 名の青年農業者が全国各地から日比谷公会堂に集結して行われた「第 5 8 回 J A 全国青年大会」(2 月 14~15 日)にて採択されました。